



ゆくさ、おさひじやした！ 沖縄

【スローガン】国民と広く連帯し、患者・地域住民と医療・福祉労働者の人権・生命の尊厳を守ろう



第5号
2015年6月13日
【発行】
実行委員会事務局



◆ 潤生会新潟病院労組
丸山規子さん
第7分科会・医療政策と
看護労働に参加
看護師をとりまく情勢
が大変になってきている
のを実感しました。私た
ちの病院では、「勤務協定と休日や年休消化目標(60%以上)」を導入した当時、「勤務拠点にした定数協定」を結び、それを守つてきました。夜勤月8日以内など勤務を順守しています。労働組合は、この結果だとと思つてます。全国各地の病院で、職場を基礎に労働組合が強くなつて働きやすくなっています。特定行為研修制度の課題でも多くの意見を聞くことがでてきたので、単組に持ち帰り、看護師が不利益を受けないよう労使協定を結べるようにしてほしい。

参加者 インタビュー

分科会の感想をお聞かせください。



◆ 千葉陽子さん（山梨民医） 第1分科会へ参加
各県で実施をしている福島の被災者の受け入れについて、自分たちの県や組合でも行いたいと前から考えていたが、その具体的な取り組み方法のヒントとなる報告があり、これから先の自分の実践に生かしていくたいと思います。山梨に当時の面影が残ります！

【題字写真】知覧・武者屋敷

薩摩藩では領地を113の地区にわけて、「麓」と呼ばれる武家集落を作り、武士団を集結させることなく分散して統治にあたらせた。知覧の武者屋敷もその一つ。石垣と生垣に当時の面影が残る。



遠藤友紀さん（山梨民医） 第1分科会へ参加
分科会のテーマだけにとどまらず、国民健康保険、生活保護、福島の問題など、とても幅広い内容の事例・発表を聴くことができました。とても勉強になりました。

動く分科会 レポート

川内原子力発電所・知覧特攻平和会館 見学 平和と原発問題を考える



動く分科会には38名が参加して、知覧特攻平和会館と九州電力原発資料館を見学し、川内原発再稼働に反対する久美崎海岸テント村で交流するなど、平和と原発問題で学び、交流する場となりました。安倍政権が戦争法案や原発再稼働で暴走するもとでの分科会となり、参加者からは、戦争する国づくりや原発再稼働を絶対に許さない決意が語られました。



第2分科会（救急医療からみた地域包括ケア）

「権利としての社会保障」を否定し、「金で買う社会保障」に変え、医療を新しい産業の柱にしようとする政府の社会保障一体改悪。こうした中で医療過疎と呼ばれる地

第1分科会（医療・福祉）



域で、医療・福祉を守り
発展させる様々などりく
み、地域住民アンケート
や被災者健診など様々な
運動交流が行われた。



在宅での看取りを支える
診療、訪問看護・リハ
ビリを加えた在宅系事業
というテーマで交流。亡
くなる直前までディケア
に通えた症例、地震に際
しての防災対策を通して
の人とのつながりなどの
報告があった。病院・診
療所や介護事業者との間



第2分科会（救急医療からみた地域包括ケア）

良くない生活習慣を排除し、良い生活習慣をすすめることが予防。様々な現場での実践、職場の健康づくり、班ぐるみの健康づくり運動の報告。実技として、「足指力計測判定」と認知症予防・転倒防止予防のデュアルタスク法「すつきりはればれく操」が紹介され楽しく交流。

第3分科会（健診・地域での健康づくり）

で地域ネットワークの確立が重要と確認。

◆市民フォーラム◆

広がる格差と貧困

～子どもの貧困問題を考える～

深刻な子どもの貧困問題を市民とともに考えようと約80名が参加し討論が行われました。

困問題を市民とともに考えようと約80名が参加し討論が行われました。

（鹿児島生協病院・小兒科医師）

（県立高校・教諭）

（白鳥法律事務所・弁護士）

（鹿児島生協病院・小兒科医師）

（社会福祉士）

第4分科会（看護ケアの質）

4分科会



看護・介護実践など看護
現場におけるケアの質向上
上のとりくみ交流が行われ
れた。